

校訓

自律 友愛 創造



校章の由来

宮崎県立都城工業高等学校の校章は、昭和36年宮崎県立都城都島高等学校から分離独立の際定められたもので、全校生徒職員から募集された中から、当時電気科2年山元君の図案が採用され、校章と定められた。2枚の羽を組合せたシンプルなものである。この図案の趣旨は

1. 大空に羽ばたく鳥のように、飛躍する心意気を示す。
2. 製図学習に必要な羽根の刷毛、即ち技術を象徴する。
3. 羽根の交わりは友情のきずな、切磋琢磨をあらわす。

従ってこの校章は、将来本校生徒が民主的な社会の一員として、心豊かな人間性と、近代的な科学性を身につけた有能な実践的技術者を目指して、将来への大きな飛躍の基礎を培って欲しいと願ったものである。